

(4) 平良川河口

1) 第 1 回調査(平成 27 年 10 月 24 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-19 に示した。調査日当日には 2.5mm の降雨しか確認されなかったが、前日には 59.5mm の降雨があったため、降雨後の陸域調査として実施した。

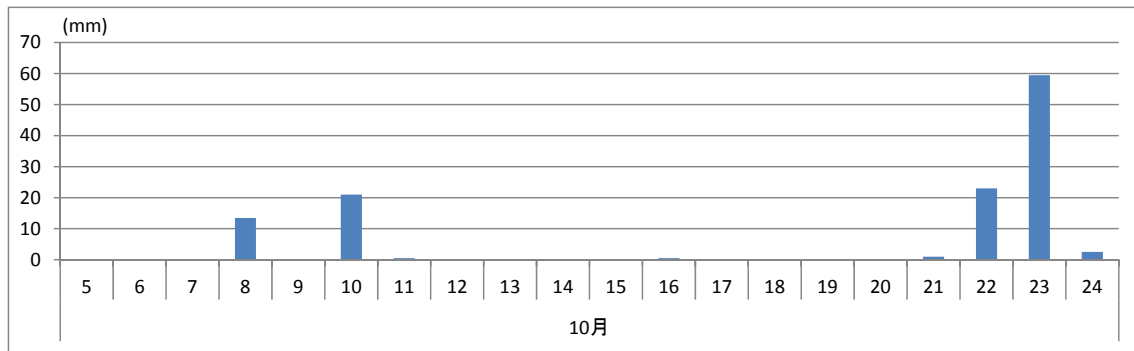


図 4.4-19 調査日前 20 日間の降雨状況(東観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置を図 4.4-20 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

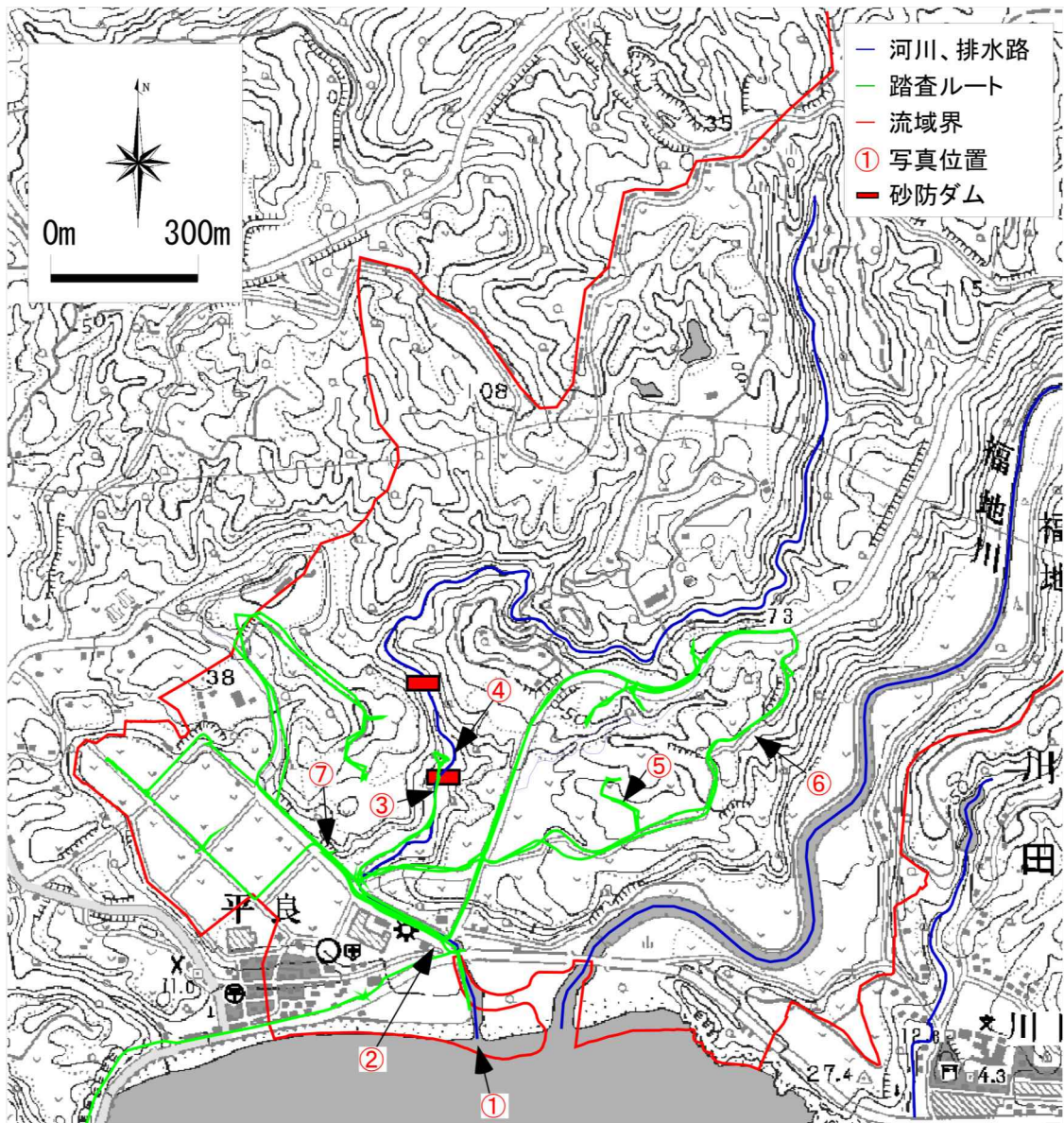


図 4.4-20 平良川河口 陸域調査位置図(1回目)

- ・ 河口においては、多少の濁りが確認された(地点)。また下流河川においても多少の濁りが確認された(地点)。採水した結果、濁度は1.5(度)であった。



地点① 河口域(濁り少)



地点① 採水状況



地点② 河川域(濁り少)

- ・ 上流の砂防ダムの直下(地点)においても濁りが確認されたため、下流域の濁りは砂防ダム直上の土砂と前日に降った59.5mmの雨が原因であると考えられる。採水をおこなったところ、見た目ほどの濁りは確認されず、その濁度は砂防ダム直下では12.8(度)であり、砂防ダム直上(地点)では14.6(度)であった。



地点③ 砂防ダム付近の状況



地点③ 採水状況



地点④ 砂防ダム直上の状況



地点④ 採水状況

- ・ 流域内にはパイン畑等が広がっているが、昨年度から裸地がむき出しになり流出源となりうる箇所が複数見られており、本調査時にも同様に、排水路・道路への流出状況や谷への流出状況が確認された(地点)。なお地点 ではグリーンベルトの苗が植え付けられているのが確認された。



地点⑤ 道路への流出痕(但しグリーンベルト対策あり)



地点⑤ 昨年度状況



地点⑥ カンガルーポー畑末端の斜面からの流出



地点⑥ 昨年度状況

- ・一昨年度に確認された土砂崩れ箇所においては、H26 年度第 1 回調査時同様大型土嚢が設置されており、また大型土嚢の間隙から草本が茂っており、排水路への流出は今回も確認されなかった。



地点⑦ 土砂崩れ箇所対策(草本により改善)



地点⑦ 昨年度状況

- ・流域外であるが、平良湾西側で H27 年 7 月 20 日に台風による豪雨から土砂崩れが発生した。その 5 日後の 7 月 25 日には道路は赤土で埋め尽くされ通行止めとなり、海域は流出した赤土で著しく濁っていることが確認された。本調査時にはその補修工事が進められており、今後更なる赤土流出が起こる可能性は低いと考えられる。



土砂崩れ箇所対策



H27.7/25 時点での状況



土砂崩れ箇所位置図

2) 第 2 回調査(平成 28 年 1 月 22 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-21 に示した。調査日当日には 1.0mm の降雨しか確認されなかったが、前日には 38.0mm の降雨があったため、降雨後の陸域調査として実施した。

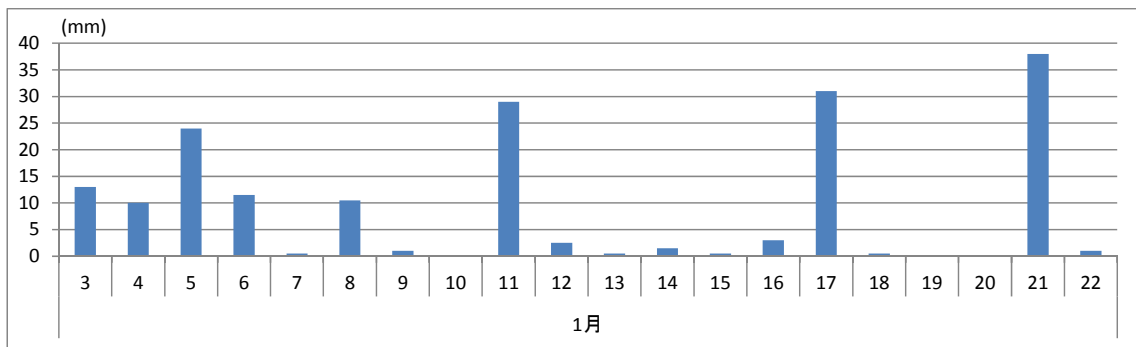


図 4.4-21 調査日前 20 日間の降雨状況(東観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置を図 4.4-22 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

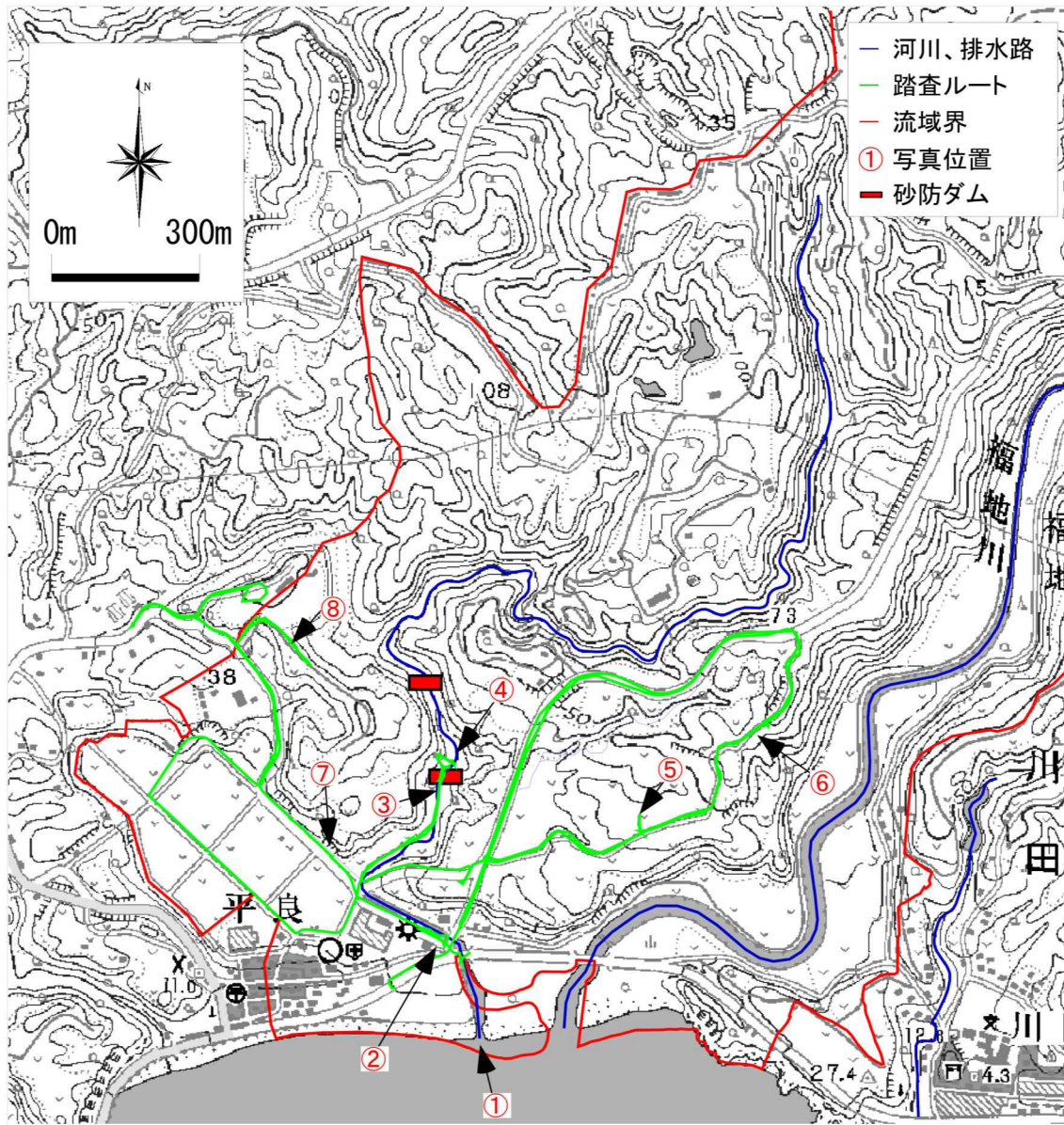


図 4.4-22 平良川河口 陸域調査位置図(2回目)

- ・ 河口においては、多少の濁りが確認された(地点)。また下流河川においても多少の濁りが確認された(地点)。採水した結果、濁度は4.4(度)であった。



地点① 河口域(濁り少)



地点① 採水状況



地点② 河川域(濁り少)

- ・ 上流の砂防ダムの直下(地点)においても濁りが確認されたため、下流域の濁りは砂防ダム直上の土砂と前日に降った38.0mmの雨が原因であると考えられる。しかしながら採水をおこなったところ、見た目ほどの濁りは確認されず、その濁度は砂防ダム直下では4.0(度)であり、砂防ダム直上では4.5(度)であった。



地点③ 砂防ダム付近の状況



地点③ 採水状況



地点④ 砂防ダム直上の状況



地点④ 採水状況

- ・ 流域内にはパイン畑等が広がっているが、昨年度から赤土流出源となりうる裸地などが複数見られており、本調査時にも同様に、排水路・道路への流出状況や谷への流出状況が確認された(地点)。但し地点 など一部では前回調査に引き継ぎグリーンベルトの植え付けが確認され、今後の効果が期待される。



地点⑤ 道路への流出痕(但しグリーンベルト対策あり)



地点⑤ 前回状況



地点⑥ カンガルーポー畑の斜面からの流出



地点⑥ 前回状況

- ・ 一昨年度に確認された土砂崩れ箇所においては、H26 年度第 1 回調査時同様大型土嚢が設置されており、また大型土嚢の間隙から草本が茂っており、今後赤土が流出する可能性は低いと考えられる(地点)。



地点⑦ 土砂崩れ箇所対策(草本により改善)



地点⑦ 前回状況

- ・ また地点 においては太陽光発電パネルが設置されており、設置地点の裸地からは側溝を埋めるほど赤土が流出していた。



地点⑧ 太陽光発電パネル設置状況

- ・ 流域外であるが、確認された平良湾西側で発生した大規模な土砂崩れは、本調査時には土嚢や鉄柵により補修されており、この地点からの赤土流出の可能性は低いと考えられる。



今回状況



前回状況



H26.7/25 時点での状況



土砂崩れ箇所位置図